

☆*****☆

ニッセイメール配信サービス（メルマガ）

【メルマガ内容】

DB基金（ ） DB規約（ ） DC （ ）
厚年基金（ ） 会計基準（ ） その他 （○）

【タイトル】 GPIF 2023年度運用結果について

☆*****☆

平素より当社社業につき格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）は、2024年7月5日に、2023年度の業務概況書を公表しました。

2023年度の収益率は+22.67%。2023年度末（2024年3月末時点）のGPIFの運用資産額は、245兆9815億円となりました。

当運用結果について、業務概況書では、以下の記載がなされております。

【2023年度 業務概況書】6ページ「理事長あいさつ」より（抜粋）

「2023年度の運用結果は、内外株式市場の上昇や円安等により、年度ベースで

22.67%のプラス収益となりました。米国連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）等が利上げを継続したことから欧米の主要国における国債利回りは上昇しました。一方、日本銀行は金融政策の枠組みを見直し、マイナス金利政策を解除したこと等から国内の国債利回りは上昇しました。ただし、緩和的な金融環境が継続するとの見通しが示され、国内外の金融政策の方向性の違いから為替は対ドル・対ユーロで円安となりました。また、米国ではIT関連銘柄をけん引役に株式市場が上昇したほか、欧州でも株式市場は上昇しました。国内株式も上昇し、日経平均株価では史上最高値をつける場面も見られました。2020年度より始まった第4期中期目標期間も最終年度を迎えております。この間の世界における経済金融環境は、コロナショックによる落ち込みからの急回復、ロシアのウクライナ侵攻、及び中東における紛争拡大等を経て、2023年半ばには欧米を中心に金融引き締めが一段落する動きが見られるなど、金

融市場も大きな動きが続いています。このようにポートフォリオ管理が難しい局面が続く中で、リスク管理に努めつつ、安定的な運用に努めた結果、GPIFが運用する資産は、2023年度末で約246兆円となりました。」

また、業務概況書の公表と併せて、2023年度末の保有銘柄が開示されています。

詳細につきましては、GPIFのHPでご確認ください。

・2023年度 業務概況書

https://www.gpif.go.jp/operation/65829801gpif/2023_4Q_0705_jp.pdf

・保有全銘柄について（2023年度末）

https://www.gpif.go.jp/operation/65829801gpif/nyoujoukyou_2023_14.xlsx

【2023年度 業務概況書】（抜粋）

	収益率 (2023年度)	資産構成割合 (2023年度末)
・資産全体	22.67%	100.00%

・国内債券	▲2.00%	26.95%
・国内株式	41.41%	24.33%
・外国債券	15.83%	23.86%
・外国株式	40.06%	24.86%

※ 国内債券は為替ヘッジ付き外国債券及び円建ての短期資産を含み、外国債券は外貨建ての短期資産を含みます。

<ご参考>メルマガ 2023年7月10日【その他】GPIF2022年度運用結果について

https://www.sa.nissay.co.jp/_media/info2023/magazine/n367_nenkin_magazine_20230710.pdf

*****メール配信サービス（年金NEWS・メルマガ）*****

運営：日本生命保険相互会社

〒100-8288 東京都千代田区丸の内 1-6-6 日本生命丸の内ビル

団体年金部 団体年金コンサルティンググループ

TEL 03-5533-5572

E-mail kikinmadoguti@nissay.co.jp

日本-年基-202407-170-0179-D